

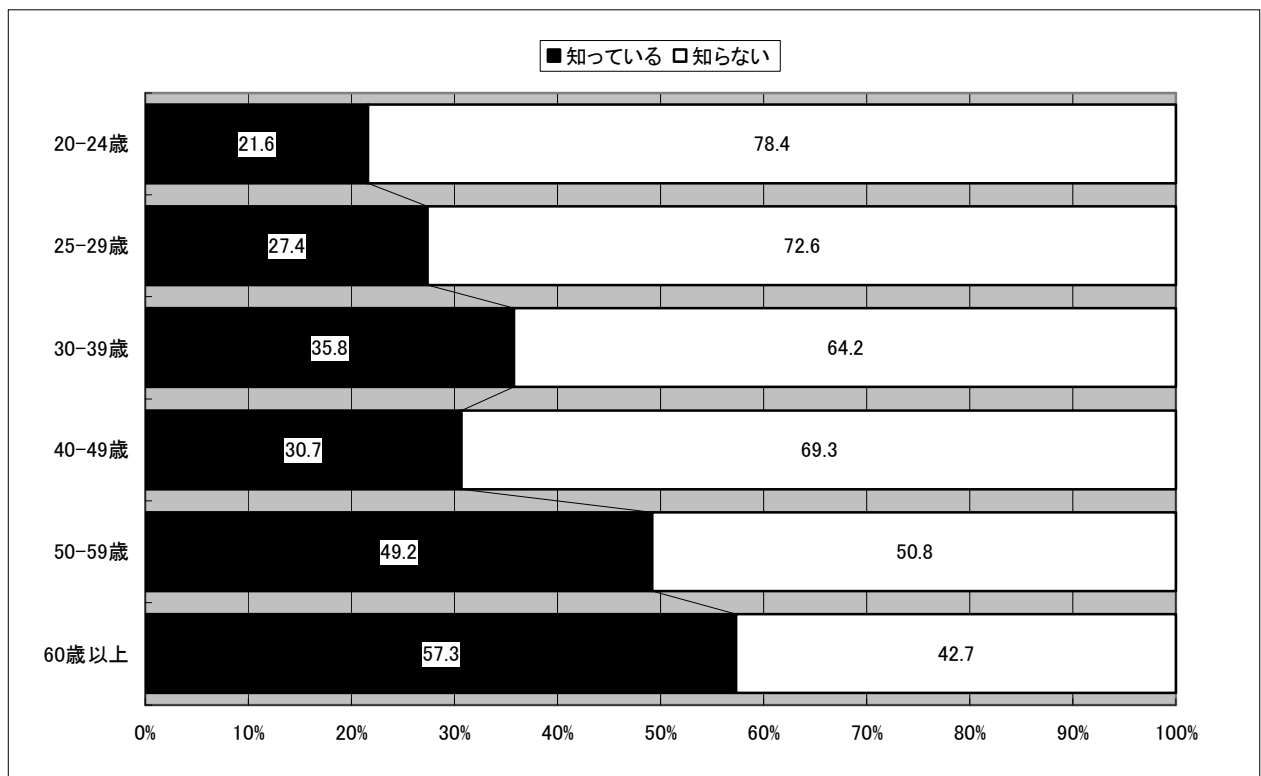
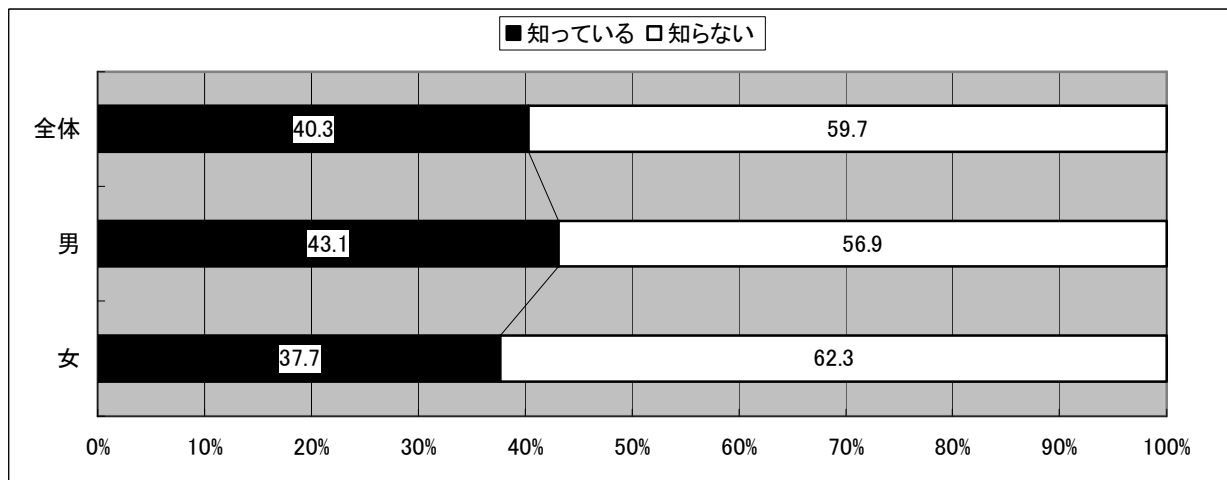
(2) 明るい選挙推進協議会の周知度

問21 現在、全ての市町村に明るい選挙推進協議会が組織され、多くの委員や推進員が活動していますが、そのような組織や活動を知っていますか。

ア 『知らない』が59.7%を占め、半数以上の人知らないと回答している。

イ 男女別にみると、男性の56.9%、女性の62.3%が知らないと回答している。

ウ 年齢階層別にみると、年代が上がるにつれて『知っている』と答えた比率が高くなる傾向となっている。

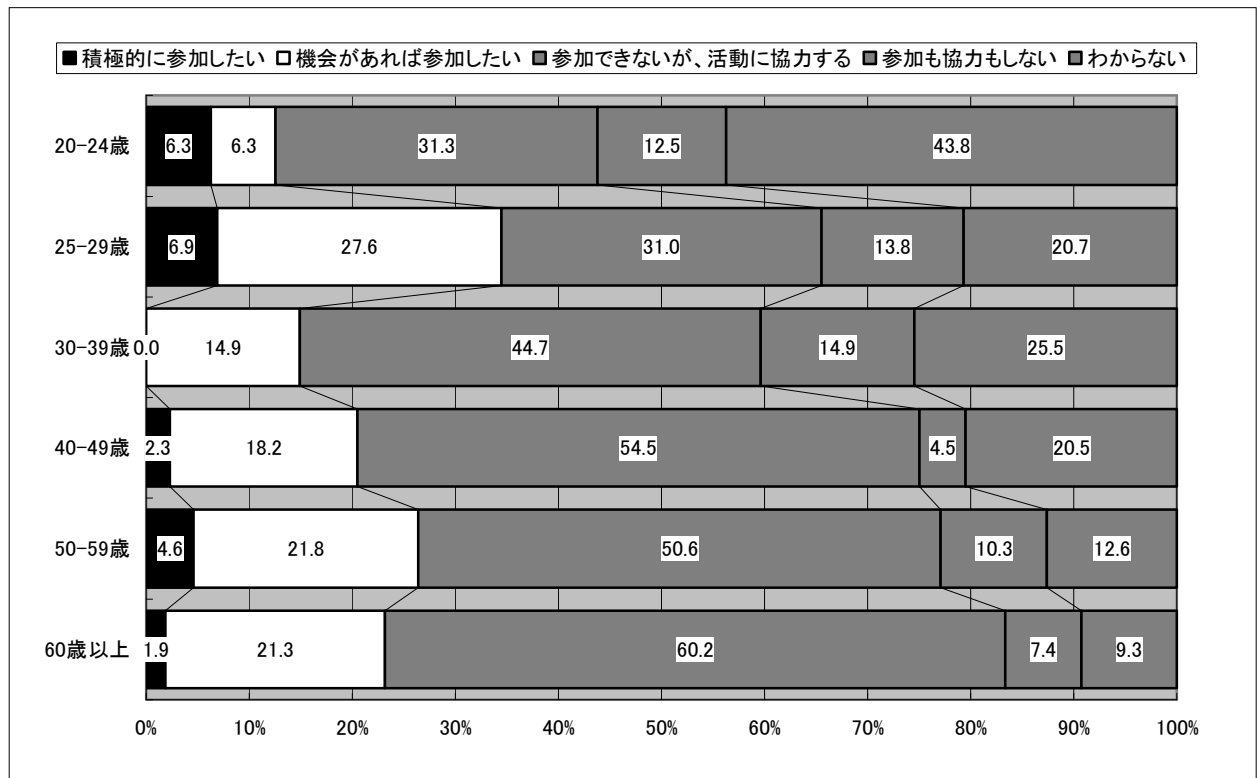
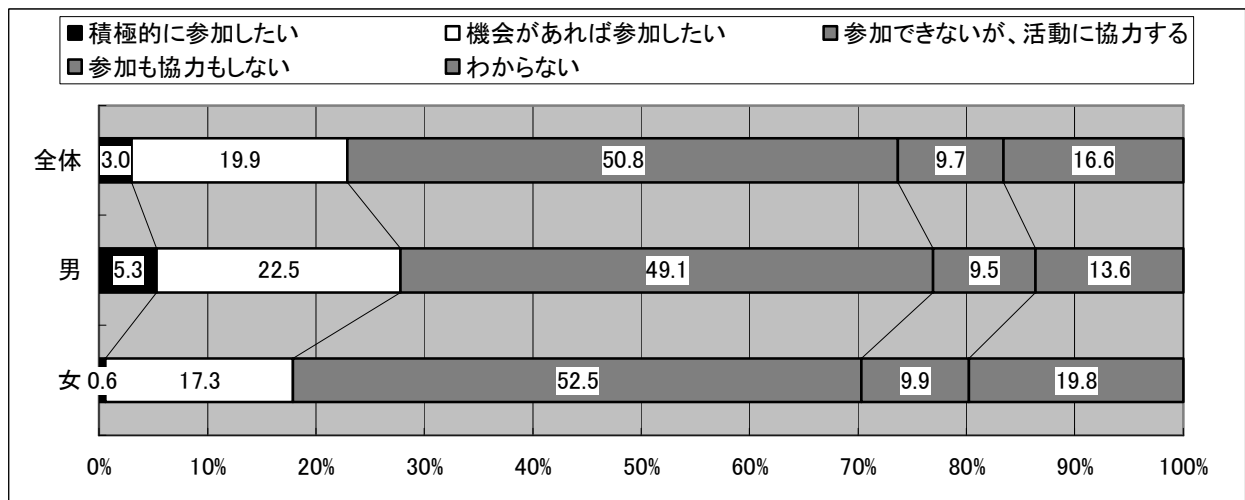


(3) 明るい選挙推進協議会活動等への参加希望

問22 そのような団体の活動に参加したいと思いますか。(問21関連)

ア 『積極的に参加したい』(3.0%)、『機会があれば参加したい』(19.9%)に対し、「参加できないが、活動に協力する」(50.8%)と答えた人が最も多く過半数を占めており、この活動に対する消極的な姿勢が伺われる。

イ 年齢階層別にみると、各階層とも『参加できないが、活動に協力する』との回答が多くなっているが、20代後半では『積極的に参加したい』(6.9%)、『機会があれば参加したい』(27.0%)との回答が他の階層よりも高くなっている。

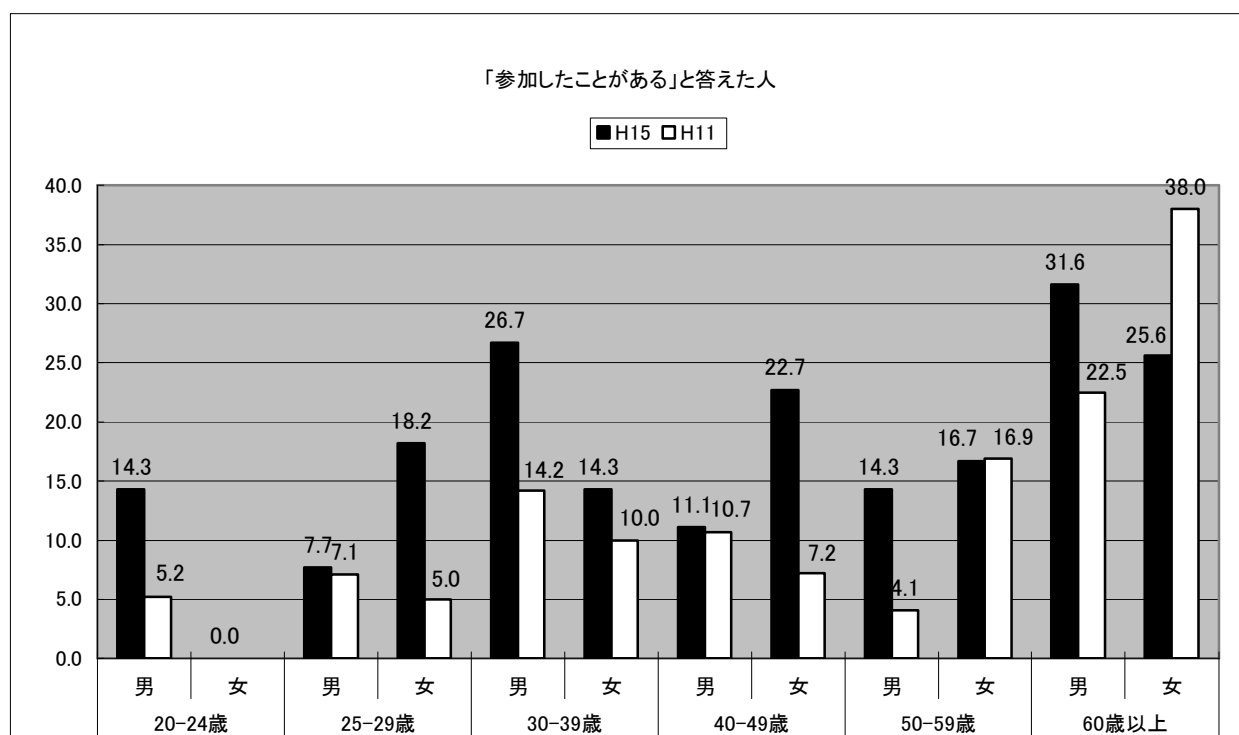
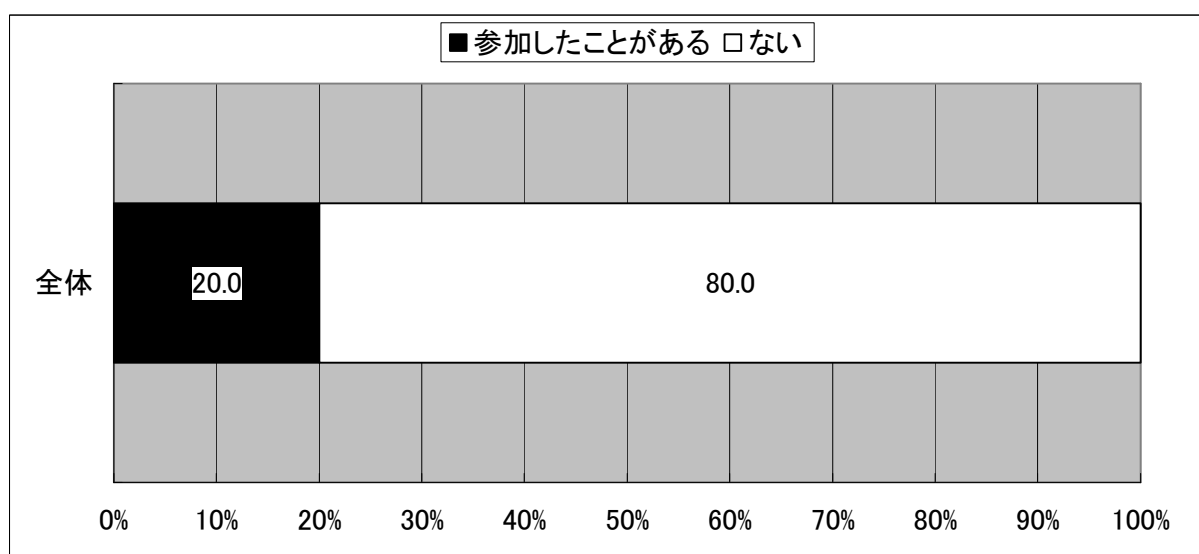


(4) 明るい選挙推進協議会活動等への参加経験

問23 そうした団体が実施している講演会、話し合い活動、学級講座などに参加したことがありますか。(問21関連)

前回平成11年調査と比べると、多くの年齢階層で『参加したことがある』と回答した比率が増加している傾向にあるが、50代以上の女性では逆に減少している。

なお、団体の周知度が40.3%（問21関連）であるが、このうち団体による講演会などに『参加したことがある』と回答した人は、全体で20.0%となっている。



(5) きれいな選挙を実現するための方策

問24 きれいな選挙を実現するためには、次のうちどれが最も必要だと思いますか。

『選挙違反に対する罰を重くする』と答えた人が男女とも最も多く(男性42.9%、女性37.9%)次いで『ふだんから政治のことを勉強して政治意識を高める』(男性17.9%、女性19.5%)となっており、前回平成11年調査とほぼ同様の傾向となっている。また『選挙違反に対する罰を重くする』との回答は、男女ともに7ポイント以上増加している。

